

報告書のとりまとめについて、以下のような構成でいかがか。

## 1. 国における遊びの議論、取組について

- (1) 厚生労働省社会保障審議会遊びのプログラム等に関する専門委員会報告書
- (2) 児童館における遊びのプログラム開発
- (3) 「こどもの居場所づくりに関する指針」
  - ・ 居場所における遊びの重要性  
(居場所の多様な形態の一つであること、災害時の居場所における遊びの機会の保障、遊びの保障は、こども自身が居場所と感ずるために必要なこと)
- (4) 「幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン（はじめの100か月の育ちビジョン）」
  - ・ 育ちの鍵となる「安心と挑戦の循環」
  - ・ 幼児期までのこどもの育ちに必要な豊かな「遊びと体験」

## 2. 学齢期以降のこどもの遊びについて

- (1) 学齢期以降のこどもの遊びの現状、特性や課題
  - ・ 総論
  - ・ 遊びのデジタル化について
  - ・ 気候変動の影響について
  - ・ 少子化の影響
  - ・ 社会的養護下のこどもの遊びについて（ヤングケアラーや貧困等）
  - ・ 緊急時のこどもの遊びについて
- (2) 遊びの本質について
- (3) 遊びに関わる大人の課題